

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。  
●施工後、必ず施工主に商品説明をしていただき、施工説明書をお返しくください。

●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては、責任を負い兼ねることがあります。

### ■施工上のご注意 (故障や誤動作の原因となります。)

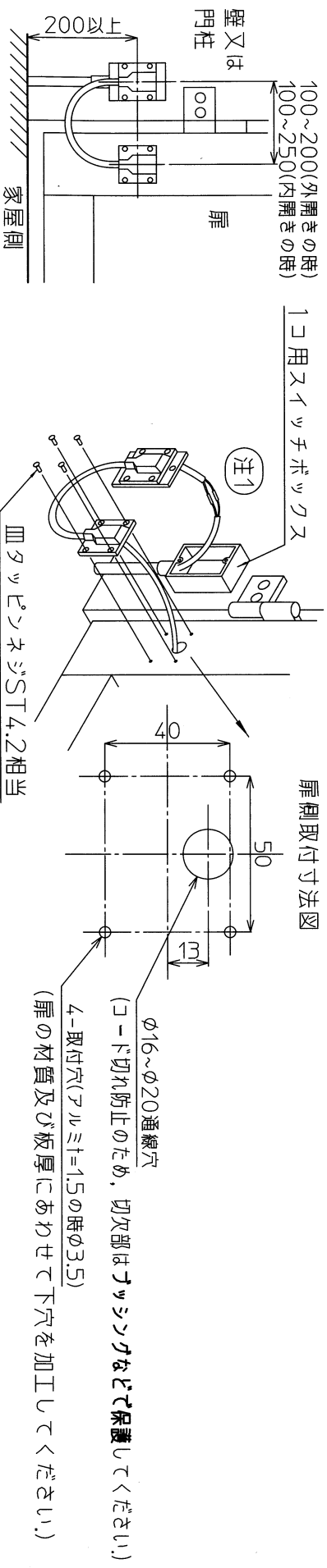
- この錠にはラッチ機能はありません。門扉の把手は必ず空錠(ラッチ式の錠: 2線式電気錠は、ドアホン子器、カメラ付ドアホン子器など同一線(多心ケーブル)を使用しないでください。また、AC100V配線とは別配管で配線してください。
- 電気錠は分解しないでください。
- 投げたり、落としたり、ハンマーによる衝撃などを加えないようにしてください。
- 2線式電気錠は、ドアホン子器、カメラ付ドアホン子器など同一線(多心ケーブル)を使用しないでください。また、AC100V配線とは別配管で配線してください。
- 門扉内部に水がたまらないよう、水抜き穴を必ず設けてください。
- 錠内部へは異物(木屑、金属屑など)が入らないように施工してください。

### ■錠の取付方法

- 扉切欠き  
添付型紙を用いて切欠きをしてください。
- 勝手変更  
本セットは右勝手内開き用になっています。  
扉の勝手が、右勝手内開き以外の場合には、下記の「勝手変更方法」にしたがって錠本体の勝手を変更してください。
- 結線  
錠本体側リード線①と通電金具側リード線②を結線してください。  
錠本体取付け  
錠本体③を本体取付ネジ④(M4X12⊕皿ネジ)2本で扉に取付けてください。
- シンタター、コインサムターン取付け  
扉外側からカラー⑤をあてシンタター⑥を差し込み、(M4X35⊕皿ネジ)扉内側からコインサムターン⑦の溝が解錠時縦向きになるよう差し込みシンタター取付ネジ⑧(M4X35⊕皿ネジ)2本を締め付けてください。
- 受座取付け  
受座⑩、可動リッヅ付箱受⑪を受座取付ネジ⑫(M4X12⊕皿ネジ)2本で取付けてください。  
受座⑩と錠本体③のチリは12mm以下にしてください。
- 動作確認  
扉を閉め、開く方向に扉を押したまま、キーまたはコインサムターンで施錠できるかどうか確認してください。  
施錠できない場合はロッキンクボルトに側圧がかかっていますので、可動リッヅを調整してください。  
可動リッヅは調整ネジをゆるめ上下に動かすと、A寸法が12~16mmの範囲で調整できますので、ロッキンクボルトに側圧がかからないように可動リッヅを動かし、調整ネジを締め付けてください。  
(A寸法は出荷時12mmになっています。) 扉の側圧は空錠のラッチで受けてください。

- スイッチボックス及び電気錠本体とのケーブル接続は必ず、圧着スリーブ又はハンダ仕上げで行ってください。  
また、テープシールドは自己融着テープ(ナチュルゴムテープ)を使用してください。
- キー⑨を抜いた状態で取付けてください。
- 可動リッヅ⑬は受座⑩の上に来るようにしてください。
- 受座⑩は扉仕様、扉厚にに応じて、3種類の中から選んでください。
- ロッキンクボルトには絶対に側圧がかからないようにしてください。

### ■通電金具の取付方法



1コ用スイッチボックス

扉側取付寸法図

調整ねじ  
受座  
L寸法  
25mm……片開き 扉厚35~45mm用  
20.5mm……両開き 扉厚35~40mm用  
23mm……両開き 扉厚40~45mm用

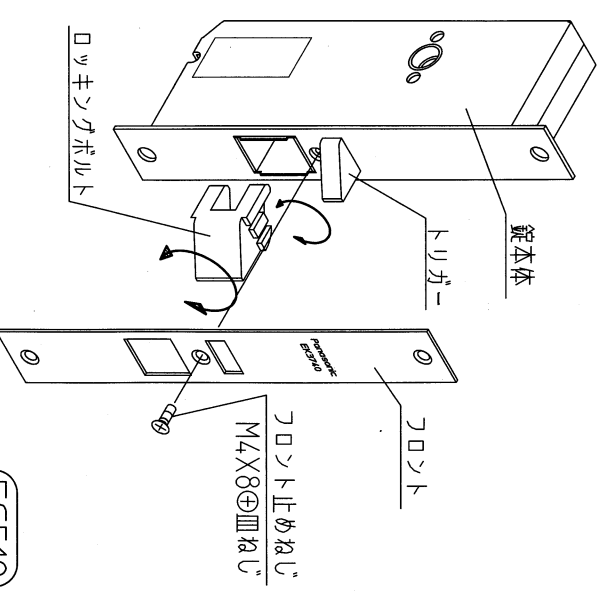
### ■勝手変更方法

下の表に従って勝手を変更してください

扉の勝手(図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手内開き (内側)	勝手変更不要 そのまま取り付けてください
右勝手外開き (内側)	右記に従って錠本体の勝手を変更してください
左勝手内開き (内側)	右記に従って錠本体の勝手を変更してください
左勝手外開き (内側)	右記に従って錠本体の勝手を変更してください
錠本体側	勝手変更不要 そのまま取り付けてください

### 錠本体の勝手変更方法

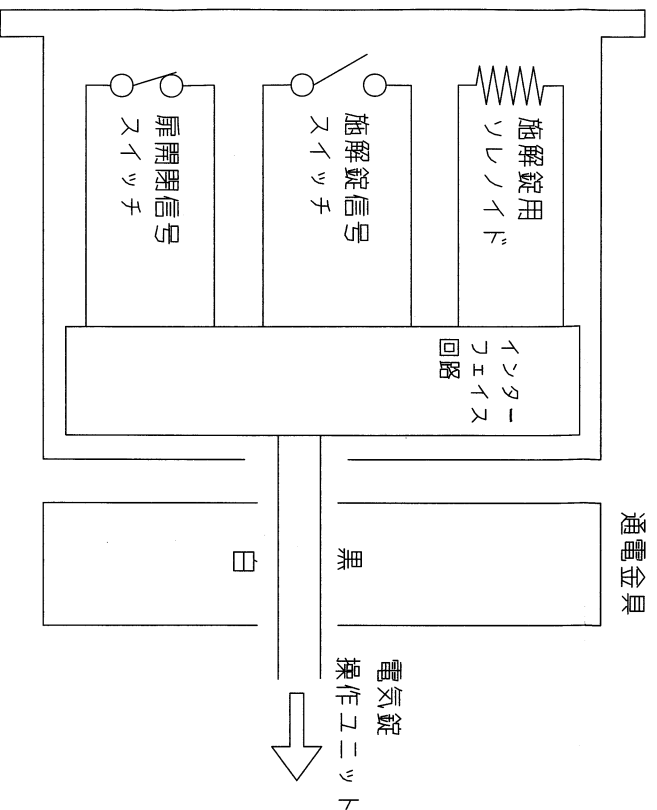
- フロント止めネジ(M4X12⊕皿ネジ)をゆるめフロントをはずしてください。
- ロッキンクボルトを抜き取り、向きを変えて差し込んでください。
- トリガーは回して向きを変えてください。
- 再びフロントを取り付けてください。



■梱包部品一覧表

部 品 名	数 量	備 考
錠本体	1	
シリンダー	1	キー-----3本
カラー	1	
コインサムターン	1	
受座	3	M4×12⊕血ナジ---4本
箱受	1	可動リツツ, 調整ナジ付き
シリンダー取付ねじ	2	M4×35⊕血ナジ
通電金具	1	皿タツピンナジ-----4本

■内部回路



■仕様

定格電圧	24V
定格電流	0.35A
使用温度範囲	-10℃~50℃

■施工後の異常に対する措置

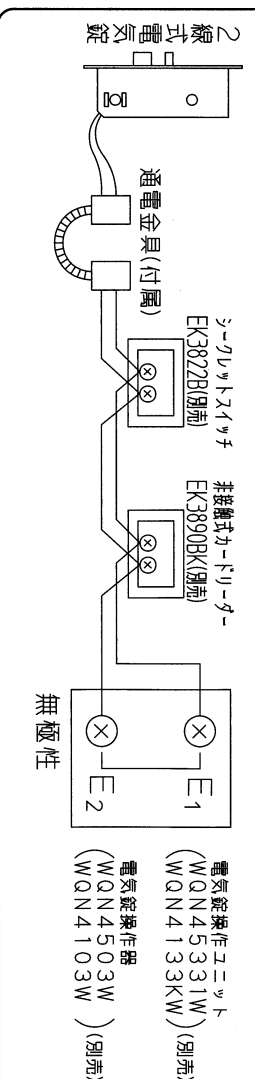
錠前の動作や操作が正常でない場合は以下の確認を行ってください。(各取付ねじはしっかりと締め付けてください)

チェック項目

設計仕様はEK3740Kとなっているか. また電気錠はEK3740Kか.	結果	備考
<p>扉の状態は正常か.</p> <p>(1) 扉のねじれ, ゆがみはないか.</p> <p>(2) 扉のはね返りはないか.</p> <p>(3) 錠前側のチリは12mm以内か.</p> <p>錠本体, フロントが扉に正しく納まっているか.</p> <p>シリンダー, コインサムターンの取付け状態は良好か.</p> <p>(1) 異常なガタツキはないか.</p> <p>(2) 動きはスムーズか.</p> <p>受座の取付け状態は良好か.</p> <p>(1) 取付け方向は正しいか.</p> <p>(2) ロックピンボルトと受座の穴の位置(上下, 前後)は正しいか.</p> <p>(3) ロックピンボルトに側圧がかかっていないか.</p> <p>通電金具の取付け状態は良好か.</p> <p>扉を開けた状態での, 電気錠の作動は良好か.</p> <p>(1) ロックピンボルト, トリガーの動きはスムーズか.</p> <p>(2) トリガーを押し込んだ状態でコインサムターン, またはキーを吊元側に約45°回した時ロックピンボルトが固定されるか.</p> <p>(3) コインサムターン, またはキーを戸先側に約95°回した時, ロックピンボルトの背面を押してロックピンボルトが回転できるか.</p> <p>扉を閉じた状態での, 電気錠の作動は良好か.</p> <p>(1) 扉が軽く閉まりスムーズにロックピンボルトが受座に収まるか.</p> <p>(2) コインサムターン, またはキーを吊元側に約45°回せるか.</p> <p>(3) その時, 扉を開けることができなくなるか.</p> <p>(4) コインサムターン, またはキーを戸先側に約95°回した時ロックピンボルトが回転し, 扉を開けることができるか.</p> <p>(5) 自動錠錠で使用するとき, 扉を閉めると錠錠され, 扉を開けることができなくなるか.</p> <p>結線は正しくなされているか.</p> <p>(1) 操作盤, 通電金具, 電気錠の間は正しく結線されているか.</p> <p>(2) 断線はないか.</p> <p>(3) 配線は電気錠操作ユニットと電気錠の間の距離に見合う太さの線を使用しているか.(上記の配線距離の項を参照してください)</p>		

■配線方法

電気錠操作器・電気錠操作ユニットの場合



■配線距離

項目	使用電線	0.5mm <sup>2</sup> ~ 0.75mm <sup>2</sup> または φ0.8 ~ φ1.2
電気錠操作ユニット~シーケルリットスイッチ, 非接触式キーリダー		50mまで
シーケルリットスイッチ, 非接触式キーリダー~2線式電気錠		10mまで

■動作確認

(裏面の取付け方法の図を参照してください)

施錠	電気的動作	機械的動作	電気的動作	機械的動作	結果
施錠	シーケルリットスイッチ, 非接触式キーリダーまたは操作ユニットの操作にて施錠してください	コインサムターンまたはキーを吊元側に回してください	シーケルリットスイッチ, 非接触式キーリダーまたは操作ユニットの操作にて解錠してください	コインサムターンまたはキーを戸先側に回してください	施錠となり 扉を開けることができなくなり ます
	解錠	電気的動作	機械的動作		